

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2525

科目概要記入欄

1. 開設大学名	安田女子大学		科目開講 キャンパス	本学		
2. 科目名	正式科目名	現代社会と人間B		クラス名		
	副題	社会・文化－総合芸術から社会を考える		配当年次	1～4年	
	旧科目名					
	学問分野	番号	26	名称	Ⅱ社会科学系 社会科学系の情報	
サテライトで開講される科目の科目群			A群 B群			
3. 担当教員名	平本 哲嗣					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2019年9月30日（月）～2020年1月27日（月） 月曜日 9：00 ～ 10：30					
個別開講日	1回目 9/30	2回目 10/7	3回目 10/14	4回目 10/21	5回目 10/28	6回目 11/4
	7回目 11/11	8回目 11/18	9回目 11/25	10回目 12/2	11回目 12/9	12回目 12/16
	13回目 12/23	14回目 1/6	15回目 1/20	16回目 1/27	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5人 （人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>映画は、音楽、映像、演劇など様々な要素からなる総合芸術と言われる。映画は純粋に楽しみのために観る場合もあるが、作品自体を分析してみると、その背後にある作り手の意図やメッセージがあらわになる。社会的存在としての我々が映画を観る際には、作品の出すメッセージを理解することが大切になってくる。この授業では、さまざまな社会的テーマに関係の深い作品を取り上げ、「映画からみえる社会」を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 映画における時代性 (1)：原恵一監督の作品 3. 映画における時代性 (2)：映画における時代の描かれ方を読み取る 4. グローバル化の功罪 (1)：『女工哀歌』について 5. グローバル化の功罪 (2)：「グローバル化」から社会を読み取る 6. 映画における政治 (1)：国家と個人の関係 7. 映画における政治 (2)：戦争と政治 8. 映画における政治 (3)：国家は信用できるのか（中間レポート提出） 9. 映画における民族性 (1)：異民族との共存 10. 映画における民族性 (2)：多民族社会の実情 11. 映画における民族性 (3)：多民族社会の行方 12. 映画における法と倫理 (1)：司法を扱った作品 13. 映画における法と倫理 (2)：映画が提起する問題 14. 映画における法と倫理 (3)：「善」と「悪」を描いた作品 15. まとめ：映画から得られる気づき 					
11. 試験・評価方法	中間レポートと期末試験を実施する。					
12. 別途負担費用	教科書なし。毎回プリントを配布する。					
13. その他特記事項	男子受入可					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	